

学内広報誌

じんげん アジュール asile

pp.2-3 大谷大学の国際交流

コミュニケーションから生まれる
異文化理解

春夏号
2024

大谷大学広報誌



pp.14-15 内定者インタビュー

就職活動のあれこれ

コミュニケーションから 生まれる異文化理解

天堀さんは中国で仕事や生活をされていますが、どのような経緯だったのでしょうか？

天堀 大学卒業後、社会人として働いて数年たった頃に、上海での長期留学を決意。人生の長期的なキャリアを考えたとき、自分の武器になる経験や能力を得たいと思ったことがきっかけです。在学中に参加した北京への短期語学研修の経験も大きく影響しています。中国政府奨学金の選考に通ったことで実現できました。現在は中国に住み5年。財務コンサルティング会社に勤めて、中国の企業を対象に、財務の代理業務や翻訳の仕事をしました。日本では新卒でも転職でも入社後に丁寧な指導してもらえるところなのですが、中国は実力主義の働き方で自分から聞かないと誰もにも教えてくれません。最初は慣れることが苦勞しましたね。

皆さんがアジア文化や中国語に興味をもったきっかけは？

塚本 高校時代に韓国語の勉強や留学を経験したことが始まりです。現在は日本語と中国語の共通点や違いなどに興味をもって学んでいます。仏教学科では、日本だけではなく中国をはじめとする他国の仏教についても学んでいます。



今回は、留学経験を生かし中国に移住し活躍する卒業生と、中国語スピーチコンテスト(主催:京都府日本中国友好協会)で上位入賞を果たした3名の学生に、異文化を学ぶことの大切さについて話を聞きました。グローバル化がますます進み、日本、特に京都には海外から多くの方が訪れています。多様な考え方や生活様式をもつ外国人とコミュニケーションを図ることが、自分自身の成長や、将来について考えるきっかけになることがみえてきました。



異文化を学ぶことの大切さとは何でしょうか？

天堀 中国で生活を始めて5年になりましたが、価値観が大きく変わりました。多様な文化や考え方にふれることで視野が広がり、相手を受け入れる柔軟性がついたと感じています。結果的に自分の成長につながりました。

三岡 私たちはCOVID-19の影響もあり留学に行けていないので、在学中にチャレンジしたいと思うのですが、一歩踏み出すには勇気がいるように思えてしまいます。

天堀 経済的な課題もありますよね。大学には助成金制度や、相談できる場所があると思います。また今はSNSも活用できる時代なので、まずは情報収集が大切なのではないでしょうか。私が在学中に参加した短期語学研修では、尖閣諸島問題で反日デモが起こっていた時期と重なってしまっていたのですが、現地で

塚本 観光業の仕事に就きたいので、中国語を駆使して観光案内ができるようにチャレンスを生かしていきたいです。

三岡 私も将来テーマパークやホテルなど、おもてなしを提供できる場所働きたいと考えています。海外からのゲストにスムーズに対応できるように、在学中に英語検定と中国語検定にトライします。



天堀 素晴らしいですね。学生時代はさまざまなことに挑戦する機会や時間がたくさんあると思います。自分のやりたいことや夢がある人は、あきらめず挑戦することで、新しい世界、人脈、自信、新しい目標などたくさん得ることができると思います。応援しています。

天堀 私も中国語と日本語に共通する漢字が多いことが楽しく感じ、初修外国語として中国語を選択したことが始まりでした。短期語学研修にも参加したことは、今につながるとてもいい経験になりました。

榎本 お手本の音声聞き込み、自分で発音をする、という繰り返しです。皆さんと同じように先生から直接指導を受けられたことで自分の課題を確認できるようになりました。おかげで優秀賞を受賞することができました。

中国語スピーチコンテストでは、本番に向けてどのような準備をしましたか？

塚本 私たちは、2023年10月22日に開催された「第41回全日本中国語スピーチコンテスト第3回京都府大会」で、課題文を朗読する「朗読部門」に出場しました。国際学部の李青先生にネイティブの発音を教えてもらい、参考にすることで正しい発音が身についたと思います。

三岡 私は第2学年時からスピーチコンテストに出場していました。李先生には対面だけでなくオンラインでも何度も指導いただきました。スピーチ原稿を先生の前で読んで、指摘を受けた部分をイ



天堀 中国は広く、地域によって話し方が全く異なることもあり、私も南の地域の癖がついてしまっています。きれいな発音を身につけ、総合的にコンテストで評価されたのはすごいことだと思います。相手に伝わったという経験は自信になりますよね。ネイティブスピーカーと関わる機会を増やすと、さらにコミュニケーションの幅が広がりますよ。私は学生時代に中国人観光客の方に話しかけたことがあるのですが、片言でも中国語を話せることを喜んでくれたんです。積極的に行動することが、きっと新たな出会いや気づきにつながるはずですよ。



**百聞は一見に如かず！
仏教が生まれた国で異文化交流**

仏教が生まれた国へ実際に訪れることで学びの幅を広げたいと思いました。研修の事前講義でインドについて学習でき、万全のサポート体制で不安なく臨めました。印象深い思い出は、同世代のインド人学生と異文化交流できたことです。互いの国の伝統的な踊りを披露しあい、単語やジェスチャーだけで会話するなど、言語の壁を越えて大盛り上がり。百聞は一見に如かず、動画や写真では体感できない異国の風になれることができるので、少しでも海外に興味があるならぜひ参加してください！



短期語学・文化研修

インド



本谷 来生
(文学部 真宗学科 第4学年)

長期留学

韓国
東西大学校



小原 梨沙
(国際学部 国際文化学科 第3学年)

**留学先で素敵な出会いにめぐまれ
大きな達成感と自信ができました**

きっかけはK-POPです。韓国語の歌詞を翻訳して理解し、自己流で勉強。そのうち現地で大学生活を経験したいと強く思うようになりました。留学中は、韓国人の友達と一緒に課題に取り組んだり、釜山の海を見に行ったり、有名なカフェ通りでカフェをはしごしたり…勉強も遊びも精一杯楽しんで、大切な思い出がいっぱい！日本との考え方の違いに戸惑うこともありましたが、現地の友人に助けられ乗り越えた経験から、留学前よりも自信ができました。



文学部 真宗学科
フィールドワーク3(国際)

アメリカ



藤原 顕信
(文学部 真宗学科 2023年度卒業)

**授業の一環で現地へ！
アメリカの宗教の現状を知ることができました**

アメリカは多民族・多宗教国家であり、その中で仏教がどのようにして受け入れられ、広まっていったのかを知ることでこれからの学びにも生きてくると考えました。現地では大谷派の寺院はもちろん、本願寺派や真言宗の寺院、キリスト教会なども見学し、開教活動に携わる方のお話を聞くこともできました。仏教の本質をどのように伝えていくか、日本とアメリカとの違いや共通点を見つけ、普段とは異なった視点から考えるきっかけになりました。



大谷大学の国際交流・留学

大谷大学には長期留学や短期研修プログラムなど、個々の希望にあわせた留学機会があり、学部・学科を問わず全学生が利用可能。さらに学科独自の海外研修も行われています。また、GLOBAL SQUAREでは、留学や語学学習に関心がある学生をサポートしています。

語学学習支援室 GLOBAL SQUARE



1 語学学習サポート

語学学習についてのアドバイスや語学検定試験情報の提供などを行っています。語学学習関係の各種参考書やDVDなども豊富に取り揃えています。

2 留学サポート

留学を希望する学生を対象に、年2回の留学説明会を実施し、本学の留学制度を中心に留学全般について説明します。具体的に留学を考えている方、これから考えようという方など、留学に少しでも興味のある方は積極的に参加してください。学術交流協定校の情報提供や個別相談などを実施。留学出発前のオリエンテーションや留学中の相談対応など、状況にあわせてきめ細やかなサポートをします。

3 外国人留学生・ネイティブスピーカーとの交流

1年間を通して留学生などのネイティブスピーカーとの交流イベントを随時開催しています。また、室内では毎週決まった日時に留学生が常駐し、語学や文化に関する会話や質問ができます。

▼ 開催イベント



バージニア工科大学との交流会



Speak Up!~留学生と話そう~



新留学生のキャンパスツアー

GLOBAL SQUARE アシスタント

語学学習・国際交流に興味のある学生がスタッフとして活動しています。留学生のサポートや語学学習・国際交流に関するイベントの企画と運営、オープンキャンパスでのGLOBAL SQUAREの紹介などを行います。交流イベントの運営を通じて留学生と交流する機会も多く、文化の違いを感じ、自国について振り返る機会となり、自らの成長につながります。



一緒に国際交流を楽しもう！

4 はくそうかん
博綜館

1階には保健室・学生相談室・人権センター、2～5階には、教員の個人研究室があります。

5 こうどうとう
講堂棟

入学式・卒業式やさまざまな宗教行事が行われる講堂のほか、地下1階には学内食堂があります。

6 体育館

アリーナや剣道部、卓球部、空手道部が使用する練習室のほか、トレーニングマシンなどの設備が整ったトレーニングルームがあります。

7 8 4・5号館

主に教職課程に関する授業が行われます。実際の学校や保育現場の様子がイメージしやすい模擬授業教室・多目的ルームや音楽室・図工室・理科室・ピアノレッスン室などがあります。4号館1階には授業で使用される教材・教員や教科書、指導書がそろった資料室を備えた教職支援センターがあり、教員を志す学生の支援を行っています。

9 こうりゅうかん
響流館

図書館、博物館、総合研究室、真宗総合研究所、メディアホールなど、さまざまな教育・研究効果を高める施設を配置しています。また、学内食堂付近には、学内コンビニ、学内書店があります。

1F 博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学などの分野の、貴重な典籍や民俗資料など約12,000件を所蔵し、そのうち10件が国の重要文化財に指定されています。定期的に企画展や特別展を開催しています。



B2F-2F 図書館

蔵書数は約88万冊、1・2階の閲覧室には約15万冊の図書や資料が設置されています。2階のカウンターではノートパソコンの貸出も行っているため、レポート作成や情報収集に活用することができます。



1F 地域連携室
(コミュ・ラボ)

大学や学生が取り組む地域連携活動を支援しています。地域連携アドバイザーがプロジェクトの運営などについてアドバイスや情報提供しているほか、学生のワークショップなどにも活用されています。



3F 総合研究室

研究に必要な辞書・図書を自由に閲覧できるほか、ノートパソコンの貸出を行っています。任期制助教が常駐し、学習や研究についての相談にのるほか、輪読会・勉強会なども開催しています。



2024年9月に
リニューアルオープン!
(詳細は11ページ参照)



1F 教職支援センター

窓口で履修相談が受けられるほか、学校ボランティアや教育実習、教員採用試験の相談などによってくれる頼れる教職アドバイザーが常駐しています。教員を目指す人はぜひ利用してください。



1 じんげんかん
尋源館

(国・登録有形文化財)

1913年に竣工され、2023年に110周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴の本学のシンボルです。2階の尋源講堂では、朝の勤行などが行われています。



2 2号館

仏教教育センターや幼児教育関連の実習室があります。

3 きょうもんかん
慶間館

1階中央の学生ロビー「ミニール・プラザ」の周りには、学生支援部窓口、学習支援室、文藝塾、語学学習支援室などさまざまな学習支援施設を配置しています。3階には情報系教室、4・5階には教員の個人研究室もあります。



PICK UP! アクティブ・ラーニングスペース



5F コモンスペース

[大型モニター・ホワイトボード完備]
モニターを使ったディスカッションやグループワークが可能なアクティブ・ラーニングスペースです。



2F/4F サブゼミスペース

[プロジェクタ・ホワイトボード完備]
だれもがここで行われるプレゼンテーションやイベントに参加できるようなオープンスペースです。



2F～5F マルチスペース

各フロア3カ所に設けられており、尋源館を望める場所。自主学習やグループワークなどに活用できます。

1F 文藝塾

プロの技術を学び、文章力を鍛える“道場”で、「書く力」を養うための場です。ガラス張りのスペースには、文藝を通じた交流サロンとして、さまざまな学生が集います。



1F 学習支援室
(LEARNING SQUARE)

基礎学力向上のための、サポートスペースです。アドバイザーの教員から外国語やレポートの作成方法について個別指導が受けられます。



1F 語学学習支援室
(GLOBAL SQUARE)

海外留学や外国語習得、海外の文化に関心のある学生や、外国人留学生が集う場所です。外国語学習の機会や交流会の開催、留学希望者へのサポートなど、きめ細かく支援します。

好きなこと、新しい可能性にとことん夢中になってみよう!

キャンパスライフを充実させる
課外活動団体一覧

72 団体

委員会・総部	社会総部 10団体
中央執行委員会	仏教青年会
新入生歓迎実行委員会	伝道部
学園祭実行委員会	児童教化研究会
文化総部(役員・幹部)	スカウト部
体育会(役員・幹部)	児童文化研究会
社会総部(役員・幹部)	ユースホステル旅行研究会
音楽総部(役員・幹部)	自然愛好会
	点字・点訳サークル
	探検会
	ボランティア研究会
文化総部 16団体	音楽総部 10団体
華道部	尺八部
茶道部	男声合唱団
能楽部	軽音楽部
E.S.S.	箏曲部
写真部	ギター部
映画研究部	混声合唱団
美術部	アメリカ民謡研究部
書道部	吹奏楽団
大谷文芸	フォーク研究会
歴史学研究会	ジャズ研究会
古美術研究会	
落語研究会	
民俗学研究会	
漫画研究部	
演劇部	
京都文化研究会	
体育会 15団体	新聞社・放送局
卓球部	新聞社
柔道部	放送局
空手道部	
硬式野球部	
サッカー部	
弓道部	
陸上競技部	
剣道部	
バスケットボール部	
スキー競技部	
ソフトテニス部	
バレーボール部	
バドミントン部	
跆拳道部	
アメリカンフットボール部	
	同好会 12団体
	ワンダーフォーゲル同好会
	飛行研究会
	ダンス同好会
	SF研究会
	TRPG同好会
	自動二輪同好会
	推理小説研究会
	聲明研究会
	大谷弦楽アンサンブル
	手芸サークル
	水泳同好会
	スポーツチャンバラ同好会

ボランティア研究会

ゲームをしながら手話や指文字を楽しく学んでいます。ドラマを見て興味を覚えた人、将来福祉関係の仕事で役立てたい人など、きっかけはいろいろ。今後は手話の先生を招いたり、施設訪問や合宿をしたり、活動をさらに活発化する予定です。気軽に遊びに来てください。

佐々木 大雅
社会学部 コミュニティデザイン学科
第3学年

手話の多彩な表現を
楽しく学べる活動です。
興味のある人、待っています!



民俗学研究会

月に一度、京都および周辺の神社仏閣や博物館を巡るフィールドワークをメインに、民俗についての知識や見識を広める活動を行っています。行き先は部員の希望を募り、2023年は東映太秦映画村訪問のほか夏合宿も復活。広島県の実験ドームや厳島神社を訪れました。

多賀堂 龍尋
文学部 歴史学科 第3学年

40年以上の活動実績!
民俗学の枠にとられず
楽しく活動しています



陸上競技部

週3日、競技場やトレーニングルーム、大学のグラウンドで活動しています。競技力を向上させたい人、試合で好成績を残したい人、体を動かすことが好きな人など、目標や目的はさまざま。練習メニューは各自で決め、サポートしあいながら陸上と向きあっています。

中西 漣
文学部 歴史学科 第4学年

競技力向上のため、健康のため、
体を動かすことが好きな人集まれ!



ギター部

主に春と夏に学内外で開催しているライブに向けて、毎週水曜日に集まって練習しています。アコースティックギターで弾き語りをする人だけでなく、バンドを組んでドラムやキーボードを演奏する人も。選曲も楽器も自由に楽しく! ギター初心者も大歓迎です。

西川 花厘
教育学部 教育学科
幼児教育コース 第3学年

みんなで楽しく活動しています!
いつでも見学に来てね!



お知らせ 総合研究室がリニューアルオープン



(イメージ図)

2001年に竣工された真宗総合学術センター(響流館)の一施設として開室した総合研究室が、全面改修を経て2024年9月中旬にリニューアルオープンします。
 新しい総合研究室は、4つの研究室(第1研究室～第4研究室)と中央エリア等からなっており、全域にわたって学部学科専攻を問わずすべての学生が利用できます。西側にあるブリッジを使ってさまざまな学習支援施設を備えた慶聞館とのあいだを自由に行き来することができ、また、室内中央にある階段を使って図書館と行き来することができます。
 助教が常駐する各研究室には専門分野の図書が配架され、設置されているプリンターとコピー機はすべての学生が利用可能です。総合研究室はこれまで以上に、教員と学生(大学院生と学部生)が自身の専門分野の研究を深め、さらに分野を越えた交流を深めることができることを願って改修します。詳細については、総合研究室リーフレットをご覧ください。



2023年11月30日

高校生・中学生対象 「大谷大学文芸コンテスト」受賞作品決定

7月から応募受付を行っていた「大谷大学文芸コンテスト」の受賞作品が決定しました。全国から多数のご応募ありがとうございました。



受賞作品一覧はこちら



2023年11月9日

ラビンドラナート・タゴール 胸像受贈式を開催

インド共和国外務・議会担当閣外大臣 V.ムラーダラン氏が本学を表敬訪問され、アジア人で初めてノーベル文学賞を受賞したインドの詩人ラビンドラナート・タゴール氏の胸像を寄贈いただきました。



2023年10月13日・1月12日

【国際学部】 アメリカ人留学生との交流会を実施

アメリカからの短期留学プログラムを運営する非営利教育団体CIEE Kyotoで学ぶために来日している留学生と交流会を実施。英語コミュニケーションコース、ゼミ生(第2学年)がキャンパスツアーなどを行い交流しました。

2024年度前期博物館開館予定

※詳細は本学ホームページをご覧ください。

春季企画展

2024年4月1日(月)～5月11日(土)

大谷大学のあゆみ
まなびや
 赤レンガの学舎

夏季企画展

2024年6月4日(火)～8月3日(土)

教科書の素材(もと)

秋季企画展

2024年9月3日(火)～9月23日(月)

大谷大学の逸品併催実習生展

クラブやサークルに 入りたい新入生必見! 2024年度新入生歓迎イベント 若葉祭



2024年4月20日(土)開催予定!

新入生の皆さんに4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月20日(土)に新入生歓迎実行委員会が若葉祭を企画しています。

若葉祭では課外活動団体のパフォーマンスや活動紹介を行い、教室にて課外活動団体の展示・勧誘ブースなどの企画を実施する予定です。ぜひご参加ください。

※企画は変更・中止となる場合がありますので予めご了承ください。



お知らせ

ラジオで大谷大学のコーナーを放送中!

本学修了生の谷口キヨコさんがDJを務めるFM大阪の人気番組「LOVE FLAP」で、大谷大学のコーナー「大谷大学KYOTO FLAP」放送中です。



※FM大阪の放送エリアの方は生放送の視聴が可能です。



※放送翌日の火曜日に配信。全国どこからでも1年間聴取可能です。



2024年1月～3月

学内有志団体「大谷大学TAT(共に歩み隊)」 能登半島地震復興支援活動

学内で救援物資の寄付や募金を募ったほか、3月1日(金)～3日(日)には有志の教職員・学生24名で被災地(輪島市・七尾市)での清掃活動を行いました。

活動の詳細はSNSをチェック



2023年12月17日

「おたにキッズキャンパス ～冬のわくわく教室&天体観測会～」を開催

初等教育コースの学生が中心となって子どもたちとの交流イベントを実施。手作りのスタンプラリーやさまざまな工作体験コーナーで、学生が子どもたちの活動をサポートしました。全体で親子80名(延)の参加がありました。

Club Information

2023年度秋季大会結果(2023.2.1時点)

卓球部

●令和5年度関西学生卓球秋季リーグ戦
 男子4部A 3位(4部残留)
 男子4部B 4位(4部残留)

硬式野球部

●2023年度 京滋大学野球連盟 秋季リーグ戦
 1部5位(1部残留)

サッカー部

●2023年度 第101回 関西学生サッカーリーグ(後期)
 4部Aリーグ12位(4部残留)

陸上競技部

●令和5年度滋賀県民総スポーツの祭典 滋賀県民スポーツ大会の部
 男子走幅跳 2位
 男子走幅跳 2位
 中西連(文学部 歴史学科 第3学年)
 ●2023年度 第1回学連競技会
 男子100m 25組 7位
 水田 蒼士(文学部 歴史学科 第1学年)
 ●第91回近畿陸上競技選手権大会兼 第108回日本陸上競技選手権大会近畿地区予選会
 男子三段跳 11位
 中西連(文学部 歴史学科 第3学年)
 ●2023年度 第4回大阪体育大学競技会
 男子三段跳 5位
 中西連(文学部 歴史学科 第3学年)
 男子400m 2組 6位
 中松 秀樹(文学部 歴史学科 第3学年)
 ●第3回滋賀陸上競技協会記録会
 男子三段跳 3位
 中西連(文学部 歴史学科 第3学年)
 ●2023年度 第5回大阪体育大学競技会
 男子200m 1次レース 4位
 中西連(文学部 歴史学科 第3学年)
 男子200m 2次レース 5位
 中松 秀樹(文学部 歴史学科 第3学年)
 男子走幅跳 6位
 中西連(文学部 歴史学科 第3学年)

剣道部

●第3回若木杯争奪関西学生剣道大会
 男子5人制 3位

バスケットボール部

●2023年度 関西学生バスケットボールリーグ戦 4部Dプロック7位(4部残留)
 ●2023年度 関西女子学生バスケットボールリーグ戦 4部Bプロック6位(4部残留)

バドミントン部

●令和5年度 関西学生バドミントン秋季リーグ戦
 男子 3部5位(3部残留)
 女子 3部6位(3部残留)

バレーボール部

●2023年度 関西学生バレーボール連盟 男子秋季リーグ戦 7部1位(6部昇格)

男子シングルス

●中村 思絵瑠(文学部 哲学科 第2学年) 3位

女子シングルス

●沼田 慧和(文学部 文学科 第2学年) ベスト16

男子ダブルス

●土居 宗一朗(文学部 歴史学科 第2学年) 塚本 麟(社会学部 現代社会学科 第2学年)

女子ダブルス

●中島 颯音(社会学部 現代社会学科 第2学年) 松原 功昂(文学部 歴史学科 第1学年)

男子シングルスB

●令和5年度 京都学生バドミントン選手権大会 ベスト8

男子ダブルスB

●沼田 慧和(文学部 文学科 第2学年) 土居 宗一朗(文学部 歴史学科 第2学年)

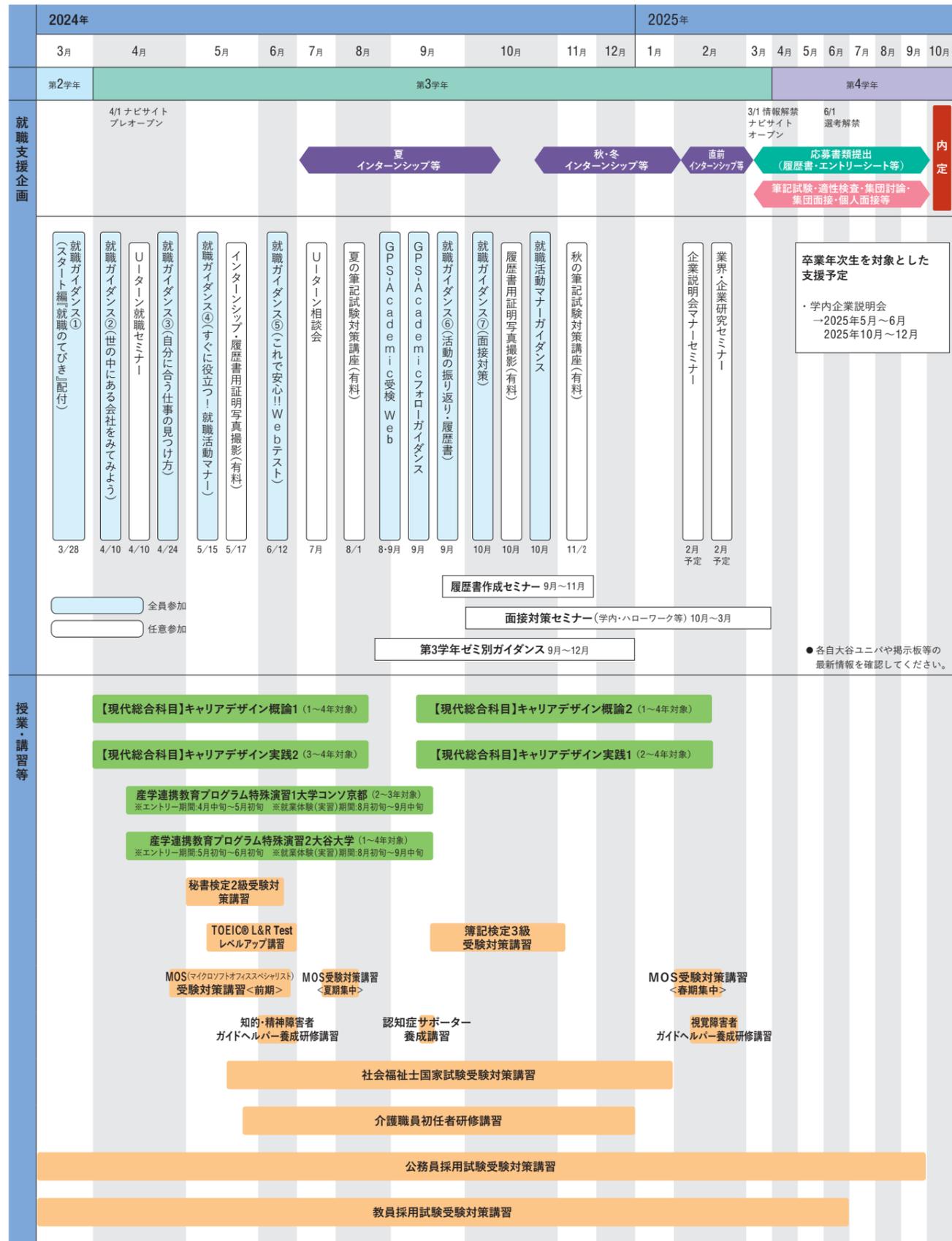
女子ダブルス

●中島 颯音(社会学部 現代社会学科 第2学年) 松原 功昂(文学部 歴史学科 第1学年)

男子シングルス

●塚本 麟(社会学部 現代社会学科 第2学年) 人見 進仁郎(社会学部 現代社会学科 第2学年)

※学年は大会時のものです



進路が決定した先輩の声を聞いてみよう [次ページへ](#)

キャリアセンターについて

卒業後の進路は、就職・進学、留学などが様々です。キャリアセンターは、皆さんがキャリアデザインを描き、実現できるように、学年ごとにガイダンスなどを開催しています。詳細は、大谷ユニバでお知らせしますので、参加してください。また、資格取得に向けた講習や、公務員・教員採用試験対策講習を開講しています。将来の進路について、わからないこと、不安なことがあればキャリアセンターを利用してください。

進路・就職システム 「求人検索NAVI」

「求人検索NAVI」を運用し、大学に届いた求人情報などを配信しています。学年を問わず、登録をした学生は、学内外のパソコンだけでなく、スマートフォンでも確認できます。

Uターン就職を希望する皆さんへ

Uターン就職を希望する皆さんへ地元での就職や、出身地以外での就職を希望する学生を対象に、自治体の担当者や直接相談ができるUターン相談会を開催します。全学年対象で、就職やインターンシップなどに関する情報収集の仕方、交通費補助・奨学金返還支援制度など、様々な相談ができます。

2023年度の就職活動を振り返って

新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどなく、コロナ禍以前と変わらない就職活動となりました。例年同様、2月下旬に3日間、学内に企業説明会を開催しました。

2024年度の就職活動について

2025年3月卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する日程は、従来通りですが、企業・事業所は、第3学年の夏期休暇中にインターンシップ(就業体験)や業界研究セミナーなどを開催し、早期に学

第3学年の皆さんへ

就職・大学院進学など、希望進路を決めて準備をしてください。その一環として、9月に実施するGPS Academic(問題解決能力を確認するアセスメントテスト。入学時にも受検)を受検してください。入学時からの自分の成長を確認し、進路就職活動につなげることができます。

インターンシップなどに参加することは、就職活動を一歩前進させることにつながります。夏期休暇中に企業・事業所が開催するインターンシップなどに参加するためのガイダンスを前期に開催します。なお、企業・事業所は、Web上での説明会や採用試験を実施するため、パソコンやスマートフォンなどの通信機器に加え、WebカメラやWi-Fi環境を整える必要があります。ただし、最終面接は対面で実施する企業が多いため、Webと対面、両方の対策をしなければなりません。

後期には、就職活動本番に向けた履歴書作成や面接対策のセミナーを実施します。

なお、大学院進学については、受験対策として、指導教員に相談してください。詳細は、次ページのキャリア支援企画で確認してください。

第2学年の皆さんへ

視野を広げることや職業観を身につけることに取り組んでください。例えば、資格取得です。取得した資格は、就職活動の履歴書でアピールすることができます。キャリアセンターでは、資格取得に向けた講習や教員・公務員採用試験対策の講習を開講しています。また、第2学年でも企業・事業所を知る企画(オープンカンパニーなど)があります。興味がある学生は、キャリアセンターに相談してください。

新入生の皆さんへ

「読む」「書く」「話す」「考える」力は、社会人として必要な力です。所属する学科の学びを積極的に受講し、身につけてください。

また、GPS Academicの受験結果を参考に、自分を高めることを目標にしたり、資格取得(『2024年度キャリア支援案内』参照)にも挑戦してください。わからないことがあれば、キャリアセンターに来てください。

大学院の皆さんへ

就職や進学について質問や相談があれば、キャリアセンターに来てください。アドバイザーとの面談を通して、進路の方向性を見出し、企業・事業所から内定を得た先輩もいます。



「先輩が話す大谷大学の就職活動ってどんな感じ?」2023年12月開催

就職活動のあれこれ

晴れて内定が決まった学生6名に直撃インタビュー！
それぞれの就職活動について話を聞いてみました！！



就職先

野村證券株式会社

中村 健太

文学部 国際文化学科 2023年度卒業
京都府・大谷高等学校卒業

インターンシップやOB訪問など

多くの社会人と関わる体験が活かに

第3学年の夏から就職活動をスタート。インターンシップは5社参加し、就職活動相談アプリを使ってOB訪問をするなど、多くの社会人の方との人脈を広げる機会を増やしました。地元の親しい先輩にも就職活動のリアルな体験談を聞き、模擬面接を手伝っていただき率直なアドバイスをもらうことで、自分の課題に気づいて修正することができました。

証券会社の営業職を志望したのは、無形商材への理解度や提案力が求められること、直接顧客と関われることなど、実力主義の業界で自分のやりたいことが実現できると感じたからです。リーディングカンパニーとして圧倒的な組織力やノウハウのある会社でキャリアを積み、5年目までにトップセールスと本社配属となることを目標にしています。

「来てよかった」「また来たい!」と

お客さまの笑顔を引き出せるホテリエに

就職活動は初めてのことだらけだったため、履歴書作成セミナーや模擬面接など大学のサポートはとてもありがたかったです。細やかなフィードバックのおかげで自己分析ができたうえ、焦らず自分のペースで臨めました。

合同企業説明会に参加し、「人と関わる仕事に就きたい」から、「旅行や出張先で、安らぎと充実した時間を過ごしてもらえるホテル接客を」へ目標が定まりました。面接でその気持ちを真っ直ぐ伝えることで内定をいただけたのだと思います。携わるマルチタスクという職種は、フロントからレストランサービスまでお客さまの滞在の流れに沿って接客を行います。来た時以上の笑顔で帰っていただけるよう、各部門の知識やおもてなし力を磨いていきたいです。



就職先

株式会社ホテルニューアワジ

小山内 睦美

文学部 歴史学科 2023年度卒業
大阪府・大阪国際大和田高等学校卒業

医療事務としてのマナーやスキルを磨き

患者や医療従事者を支えたい

大谷大学は全国各地から学生が来ていてたくさんのお出あいがあります。とても楽しい学生生活を送りましたが、私自身卒業後「何をしたい」という明確なビジョンがないままでした。しかし就職活動をするうちに、「医療に関わる仕事がしたい」と医療事務に的を絞れたのは、子どもの頃に看護師に憧れていたことを思い出したからです。

大学の先生方には親身で手厚いアドバイスをいただき、友人とは励ましあい、試験や面接の日には家族が応援して送り出してくれ、無事進路を決めることができました。患者さんの不安を少しでも取り除く対応を心がけ、患者さんをつなぐ役割として医療従事者を支えていきたいです。



就職先

大阪赤十字病院

早崎 むつみ

社会学部 現代社会学科 2023年度卒業
京都府・鳥羽高等学校卒業

就職活動は警察官一本に絞り奮闘！
地域住民の安全を守り地元へ貢献する



就職先

京都府警察本部

藤井 響流

文学部 真宗学科 2023年度卒業
京都府・鴨沂高等学校卒業



就職先

西日本旅客鉄道株式会社

武田 怜

文学部 歴史学科 2023年度卒業
福井県・北陸高等学校卒業

学内の合同説明会に参加した際、京都府警の仕事内容を聞いて自分も警察官になりたい!と決意。幼い頃、刑事ドラマの正義感の強い主人公に憧れたこともあり、また警察官として地元へ貢献できると感じたのも志望理由です。

キャリアセンターの履歴書作成セミナーや面接対策を活用し、公務員試験に特化した面接指導をしていただくなど、大学の手厚いサポートには感謝しています。筆記試験の勉強に多くの時間を要してきつと感じた時期もありましたが、家族や友人の応援が心の支えに。交番勤務の現職警察官の方と話す機会があり、励ましの言葉や助言をいただいたことで前向きに本番に挑めました。

就職活動で重要だと感じたのは

「自分は大学生生活で何をしたか」です

大学でのフィールドワークを通して地域課題や住民交流に興味をもち、ボランティア活動を始めました。なかでも地元の住民交流イベントで幼児から高齢者、障がいのある方までが世代を超えて交流する姿を見て、住民がもっと気軽に交流できる場を増やし、多角的な視点で物事を捉え地元へ貢献したいと考えるように。ゼミでは過疎地域に自生している茶葉を使用したクラフトビールの販売・広報に携わりました。

就職活動で重要だと感じたのは「大学生生活で何をしたか」「何を学んだか」です。大谷大学では学業から就職相談までサポートが充実しているので、興味の幅や卒業後の展望が広がり多くのことを学べる場所だと思います。

明確な目標と目的意識をもち

自分の芯を貫き続けたい

幼少期から電車が好きで、よくプラレールなどで遊ぶ子どもでした。そのうち、将来は新幹線の運転士になることが目標へと変わっていきました。安全で便利な交通手段として、人の生活を当たり前で支えている縁の下の力持ちのような存在にも魅力を感じ、就職先として選びました。

目標を胸に臨んだ就職活動は、履歴書作成や面接のマナー対策など大学のサポートを活用。社会人になってからの目的意識を明確にし、しっかり自己分析をして準備しました。自分を偽ることなく、小学生の時から続けた野球など、取り組んできたことを自信をもって伝えることができたと思います。組織の中で協調性を大切にしながらも、自分の芯をもち人間として成長したいです。

2006年度に創設された大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、在学生を対象に「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に継続されてきました。「表現」にはさまざまな形がありますが、「言葉」による表現の奨励に大学の伝統を感じさせていたいただいております。2023年度は、「あるべき社会、あるべき自分」をテーマに、159編の応募がありました。

なかなか難しいテーマだったのではないのでしょうか。私自身も、この役割をいただいているから、応募する側を想定して、縮め切りがあるので、漠然と考え続けているわけにもいきませんし、五十文字の制限とともに、なにより文芸的表現であることが求められます。さらに、「社会」「自分」ということだけでなく、「あるべき」ということが気になってきてまとまりませんでした。

ただ、素通りしている日常に目を向け、社会的な課題を見つめ直す機会にもなって、文芸奨励賞の目的は、この「問い、続ける。」応募期間の大切さであることも実感できました。

この時代に、作品は「手書き」で応募というスタイルもいと思っています。応募スペースに作品ごとに異なる配置で記された大小太細さまざまな文字から、ペンを持つ手をたどるように、一人ひとりの思いに触れさせていただきました。

今後、この文芸奨励賞が、在学生一人ひとりとって「問い、続ける。」機会として伝統されていくことを心から願っています。受賞されたみなさま、おめでとうございました。

大谷大学教育後援会会長 鷹橋賢淳

最優秀賞

教育学部 教育学科 第2学年
齋藤 優和(サイトウ ユナ)

「あるべき」はない。
あなたらしく生きよう。
私も私らしく生きるんだ。
「あるべき」社会に飲み込まれるな。

優秀賞

文学部 真宗学科 第4学年
相馬 直人(ソウマ ナオト)

「他者のものさし」によってつくられた私は心の奥でこうありたいと思っている私なのだろうか。

教育学部 教育学科 第4学年
小野原 亜美(オノハラ アミ)

だれもが美味しいものを食べてにっこり笑う社会のため
いま、私は動く
そして、子どもたちへ未来をつなぐ

佳作

大学院 博士後期課程 仏教学専攻 第2学年
間野 岳雄(マノ ガクユウ)

不完全の美しさをそのままに愛すること

文学部 文学科 第4学年
鍵谷 樹(カギヤ ツキ)

「あるべき自分」を彫り上げるのは設計図ではなく、鑿を一打する勇氣である。

社会学部 現代社会学科 第3学年
安武 信(ヤスタケ ミチ)

すれちがう船に手をふる海原でもう会えなくても、でもお元気で

文学部 仏教学科 第2学年
追田 菜々子(サコダ ナナコ)

前じゃなくてもいいから、みんながどこを見据えて生きる私はその中の誰かが見つめる光であるように生きる

教育学部 教育学科 第2学年
松川 紡(マツカワ ツムギ)

一人ひとりにほっとできる弱音を吐ける明日も頑張ろうと思えるそんな「居場所」のある社会

文学部 真宗学科 第1学年
藤井 求道(フジイ モトミチ)

朝起きて、大学に行って、家に帰って寝る。ただの普通の日常。普通の日常が明日も続く……

文学部 真宗学科 第1学年
源川 秀弥(ミナガワ シュウヤ)

1人が好きな人はいる。だが、人は1人では生きられない。「尊重」と「共助」こそ、あるべき社会と自分。

文学部 文学科 第1学年
岡田 遊快(オカダ ユカイ)

「こうであるべき」「だけじゃなく」「それもアリかな」そういう社会と自分「あるべき」と思う。

文学部 文学科 第1学年
柿田 日向子(カキタ ヒナコ)

今日もあの子が花の水を変えている。次の日も、また次の日も。

文学部 文学科 第1学年
川原 心花(カワハラ コノカ)

あるべき自分とはなにか。生きづらい世の中は。私が変われば変わるのだろうか。今日もこの社会を生きていく。

文学部 文学科 第1学年
菅井 海七(スガイ ミナ)

前を向かず、横を向かず、下を向いて歩く人が増えた。側にいてくれる存在を忘れてないか。

文学部 文学科 第1学年
高 沙綾(タカ サヤ)

ネットでヘルプマークについて見てから外でも見かけるようになった。見ていかなかったのが見えた気がした。

国際学部 国際文化学科 第1学年
水口 皇英(ミズグチ コウエイ)

生きなくなる社会死にたくない自分



文芸奨励賞表彰式 2024年2月15日(木)

人事情報

執行部の交代

- 【学監(副学長)】 平野 寿則(再任)
 - 【教育学生支援担当副学長 兼文学部長】 大秦 一浩(再任)
 - 【学生部長】 上野 牧生
 - 【入学センター長】 西本 祐攝
 - 【教育学部長】 西村 美紀
 - 【大学院人文学研究科長】 福島 栄寿
- 2024年4月1日付(各通)

館長等の交代

- 【図書館長】 中川 眞二(再任)
 - 【博物館長】 宮崎 健司(再任)
 - 【学寮長】 藤原 正寿
- 2024年4月1日付(各通)

定年退職

- 【教育職員】 望月 謙二(教授/教育学部)
 - 渡辺 啓真(教授/文学部)
 - 谷 哲弥(准教授/教育学部)
- 2024年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

- 【教育職員】 市川 郁子(特別契約教授/教育学部)
- 川北 典子(特別契約教授/教育学部)
- 許 燕華(任期制助教/文学部)
- 齋藤 雅哉(任期制助教/文学部)

新規採用

- 【教育職員】 中西 麻一子(任期制助教/文学部)
 - 平田 絵未(任期制助教/文学部)
 - 深町 博史(任期制助教/文学部)
 - 【事務系嘱託】 石橋 鮎(教育研究支援部)
 - 窪 浩子(教育研究支援部)
 - 米谷 真結(総務部)
 - 塩見 優樹(学生支援部)
 - 田中 美有(企画・入試部)
 - 富田 早紀(企画・入試部)
 - 内藤 唯(教育研究支援部)
 - 中島 香代(学生支援部)
 - 長谷川 朋子(学生支援部)
 - 【学生相談員】 讓 西賢
 - 【寮監】 榎山 遊(貫練学寮)
 - 【学習支援アドバイザー】 栗村 亜寿香
 - 田原 理恵
 - 寺井 伸子
 - 任 雅楠
 - 【PD研究員(真宗総合研究所東京分室)】 陳 宣聿
- 2024年3月31日付(各通)

退職

- 【事務系嘱託】 近藤 実咲(学生支援部)
 - 能田 桂(教育研究支援部)
- 2023年12月31日付
2024年2月12日付

昇格

- 【教授】 スミサーズ ライアン W(国際学部)
 - 中野 加奈子(社会学部)
 - 【准教授】 後藤 晴子(社会学部)
- 2024年4月1日付(各通)

昇格

- 【学生相談員】 上寺 恵美
 - 【寮監】 藤永 樹心(貫練学寮)
 - 【学習支援アドバイザー】 國永 孟
 - 丹上 麻里江
 - 花房 ともえ
 - 深町 博史
 - 【PD研究員(真宗総合研究所東京分室)】 高橋 泉
 - 藤井 麻央
- 2024年4月1日付(各通)

<p>【教育職員】 渡辺 拓也(任期制助教/社会学部)</p>	<p>【教育職員】 向田 泰真(任期制助教/文学部)</p>	<p>【教育職員】 松田 祥平(任期制助教/文学部)</p>	<p>【教育職員】 温 秋穎(任期制助教/国際学部)</p>	<p>【教育職員】 大川 ハナン(任期制助教/社会学部)</p>	<p>【教育職員】 山崎 弥生(特別契約准教授/教育学部)</p>	<p>【教育職員】 松金 直美(講師/文学部)</p>	<p>【教育職員】 根無 一行(講師/文学部)</p>	<p>【教育職員】 吉田 雅昭(准教授/教育学部)</p>	<p>【教育職員】 浜崎 由紀(准教授/教育学部)</p>	<p>【教育職員】 内田 祐貴(准教授/教育学部)</p>
<p>【事務系嘱託】 牧野 弥生(教育研究支援部)</p>	<p>【事務系嘱託】 中上 ゆかり(学生支援部)</p>	<p>【事務系嘱託】 澤田 真美翔(企画・入試部)</p>	<p>【事務系嘱託】 小林 史江(企画・入試部)</p>	<p>【事務系嘱託】 小林 千紗(学生支援部)</p>	<p>【事務系嘱託】 北村 尚美(企画・入試部)</p>	<p>【事務系嘱託】 梶 理恵子(学生支援部)</p>	<p>【事務系嘱託】 大島 彩香(学生支援部)</p>	<p>【事務系嘱託】 田中 夢太(総務部付)</p>	<p>【事務系嘱託】 醍醐 真央(総務部付)</p>	<p>【事務系嘱託】 岡田 遊快(オカダ ユカイ)</p>

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

2024年度学校納付金について

学校納付金の口座振替について

本学では、学校納付金を口座振替により納入いただいております。金融機関窓口での振込手続きが不要となりますので、振替口座の登録をお願いします。

学校納付金(学費)は1年分を「前期」と「後期」の2回に分けて、納入いただいております。前期納付金の納入期日(振替日)は、4月26日(金)「後期は10月15日(火)」です。振替日の前日までに登録の口座に入金いただきますようお願いいたします。学費納入通知書は、連帯保証人(学費負担者)宛に4月上旬「後期は9月上旬」に大学より発送しますので、ご確認ください。納入期日までに納入(振替)のない場合は、学則により除籍となりますので、ご留意ください。

また、事情により期日までに納入(振替)が困難な場合は、学生支援課にて学費延納の手続きを4月15日(月)「後期は9月30日(月)」までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)の提出が必要となります。ご注意ください。

学校納付金はこんなことに使われています。

■授業料

【授業】大学において最も重要な事業です。2021年度開設の国際学部をはじめとした複数学部体制のもとで、学びの実現に向けた授業を展開しています。

【学習支援室(LEARNING SQUARE)】リメディアル教育に主眼を置き、3名の学習支

援アドバイザーが常駐し、基礎英語・日本語の読み書きを中心とした個別指導を行っています。

【文藝塾】高度な読み書き能力を身につけた学生を育成するために設置しています。「文藝塾講義」「文藝塾実践演習」などの文藝塾関連科目を中心に授業としての活用、また、課外活動や読書会等を実施していきます。

【教職支援センター】履修相談や実習などの事務手続きはもとより、教職アドバイザーによる教員採用試験をはじめとした各種相談への対応、学校ボランティアの紹介、地域連携企画・運営など、教職課程に関わる支援を行っています。

【地域連携室(コミュニティラボ)】各種地域連携プロジェクトに参加する学生を対象に、さまざまな活動への支援や外部の団体との出会い・対話を通して、社会を生きるためのあらゆる力を養うための支援などを行っています。

【語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)】国際交流の拠点として留学生と日本人学生の交流機会を提供するほか、学生が主体的に留学や外国語学習に臨むことができるよう支援しています。

■施設費

本部キャンパス・湖西キャンパスの各施設の維持管理を行っています。無線LAN整備等の学習面および施設面に関する環境整備を進め、教育研究の充実をはかっています。

■大谷学会費

本学の学術研究の推進及びその成果の公開を目的として、春季公開講演会や秋季研究発表会を行っています。それらは、「大谷学報」や「大谷大学研究年報」にまとめられて、配布されています。

教育後援会だより

2023年度教育後援会事業について(報告)

「全国保護者懇談会」開催

2023年9月16日(土)、本学会会場に「全国保護者懇談会」を開催しました。当日は、午前と午後の2部制にて開催し、226名が出席されました。2024年度も、9月に「全国保護者懇談会」の開催を予定しております。是非、ご来場ください。

2023年度 開催内容

学生支援説明会

*教育後援会会長(保護者代表)の開催挨拶の後、学長および学監・副学長から、本学会開催の趣旨が説明され、学生部長からは大学の現況が報告されました。また、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、奨学金制度などの学生生活の支援体制、さらに近年の就職状況の傾向や就職活動の支援体制についての説明が行われました。

教員との個別相談

*学生の演習での様子や履修状況など、学生生活のご不明な点について指導教員との個別相談が行われました。

学生支援個別相談

*単位の修得状況や奨学金手続き、就職活動などについて個別の相談が行われました。

キャンパス見学ツアー

*学生によるキャンパス見学ツアーを実施しました。

地区別保護者懇談会(北海道・四国)開催

2023年9月に北海道地区(札幌)、10月に四国地区(丸亀、徳島)の3会場において「地区別保護者懇談会」を開催しました。

地区別保護者懇談会では、教育後援会役員および本学学長の挨拶に続き、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、クラブ活動・奨学金制度などの学生サポート体制について、さらに近年の就職状況の傾向や支援体制についての説明が行われました。その後の個別相談会では、学生の履修状況や就職活動状況などのデータをもとに、一人ひとりの相談に応じ、保護者からも熱心に質問する様子が見られました。地区別懇談会では、全国保護者懇談会とは異なり、少人数でじっくり懇談できる充実した機会となりました。

各種補助について

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、昼定食を2000円通常4500円(で提供する学生への緊急支援は終了しました。しかし、



全国保護者懇談会の様子



個別相談の様子(丸亀会場)

2024年度保護者懇談会

*全国保護者懇談会	2024年9月8日(日)	大谷大学
*北陸地区保護者懇談会	2024年9月28日(土)	金沢会場 福井会場
*九州地区保護者懇談会	2024年12月7日(土)	福岡会場 長崎会場
	2024年12月8日(日)	

※詳細につきましては、本学ホームページにてお知らせいたします。
(地区別保護者懇談会) 該当地区に在の保証人へご案内いたします。

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となつて組織され、大谷大学の教育研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互の活動を行っています。毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

大谷大学 校友活動 行事一覧

■学生会費

学生相互の自治に基づき学生生活全般の発展向上を目的として組織され、学生全員が構成員となります。学生会を基盤として、各課外活動団体が組織運営されています。また、学生会員の日常生活の安定を図るための諸事業や、新入生歓迎行事、学園祭等の行事を行っています。

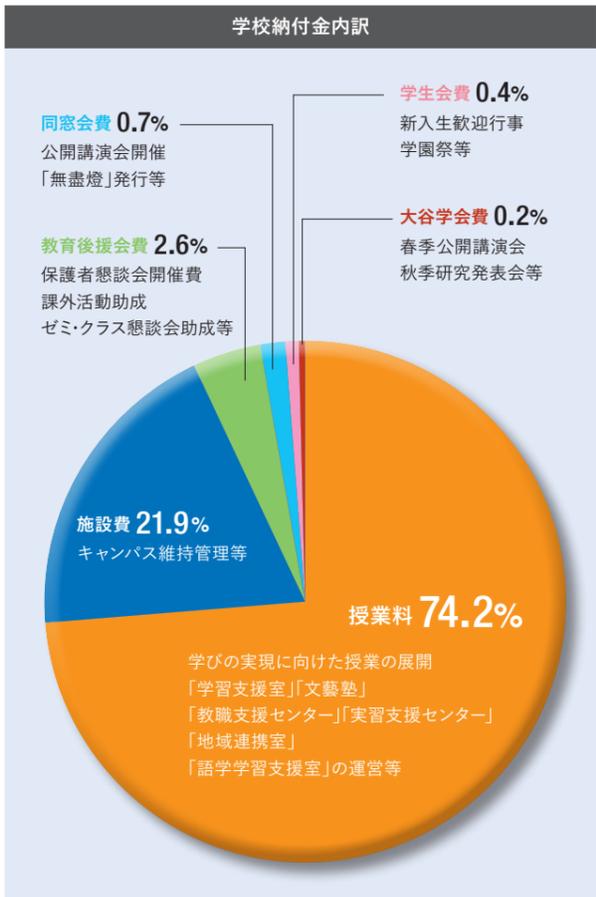
■教育後援会費

全国各地で開催される保護者懇談会などの事業経費のほか、学生会やクラブ、学園祭等の課外活動を助成しています。また、ゼミ・クラス懇談会への助成、学内食堂やグラウンド運行バスの助成、学生総合保障制度や賠償責任保険への加入助成、勤労学生表彰奨学

金、文芸奨励金等、さまざまな助成を行っています。

■同窓会費

同窓会費(終身会費)は、入会金とあわせて、原則として最終学年の後期に徴収しております。同窓会の運営費としてです。「大谷大学公開講演会」は、大学から講師を派遣し、同窓会の地域支部と協働して大谷大学の学術・研究を公開しています。また、同窓会ホームページや会報「無盡燈」は、タイムリーな情報を提供しています。卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会は、在学生が卒業・修了後も永く大学との関係を保ち、相互の關係理解を深めてもらうために、お祝いと同窓会入会歓迎を兼ねて催すものです。



教育振興資金(募金)について

2023年7月1日から2024年1月31日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。

このたびは、募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかると証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

教育振興資金寄付者 (敬称略)

【個人】		
浅田 純	(長崎県)	
白井 文昭	(岐阜県)	
加賀 手良雄	(愛知県)	
片田 武	(和歌山県)	
蓮岡 隆章	(島根県)	
藤室 佳克	(石川県)	
宮崎 真澄	(京都府)	
匿名 3件		
【法人】		
證大寺	(東京都)	
明運寺	(兵庫県)	

◆件数 12件
◆寄付金総額 1,617,000円

こんな寄付方法もあります!

京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業

本学では、京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業を行っています。京都市にふるさと納税をする際、「寄付の使い道」の一つとして「大谷大学と協働」を選択いただくと、返礼品(※)や税制上の優遇措置に加え、寄付金については、大谷大学と京都市で取り組む、大学・学生と地域の連携促進事業等に活用されます。詳しくは大谷大学ホームページをご確認ください。

※総務省の告示により、京都市内に在住の方には、ご寄付をいただいても返礼品を送付できません。

OTANI古本Project —ヒロガール×ツナガル学生支援—

本学では、読み終えた本や不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を、指定会社へ送ることで、古本は次の読み手へ届けられ、本の売上げ金は大谷大学への「寄付金」となり、大谷大学在学が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等となる事業を行っています。

古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会に是非、「OTANI古本Project」にご参加ください。

※買い取り価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた書籍等の状態が良くても価格がつかないこともありますので、ご了承ください。



古本募金回収ボックス(図書館1階に設置)

大谷大学募金



Column

世代をつなぐ長寿アニメ

ちょっと前まではアンパンマン(アニメ開始1988)、しまじろう(1993)、現在はクレヨンしんちゃん(1992)、ゲゲゲの鬼太郎(1968)、サザエさん(1969)。これらが我が家で頻りに流れているアニメ(サザエさん以外は動画配信サービス)である。すべて2020年生まれの子どものお気に入りアニメであるが、これらは私(1981年生まれ)が幼少期に見ていたテレビアニメでもある。30年以上の時を経て親と子が同じアニメを見るなんて、当時の私には想像もできなかったことである。

ただし、アニメの内容は時代に合わせてアレンジされている。例えば、ゲゲゲの鬼太郎第6期(2018)の第1話では、初めてスマホの存在を知った目玉おやじが驚くシーンがある。また、スマホやテレビなどの電化製品だけでなく、登場人物のキャラクターデザインの変化もおもしろい。ゲゲゲの鬼太郎のねこ娘の変化(特に第6期)は劇的なので、興味があればネット検索してほしい。作品の基本設定を大切にしながらも、時代に合わせて視聴者が楽しめるように工夫されているのだろう。時代を超えて愛される長寿番組のすごさである。

長きにわたって私たちを楽しませてくれる長寿アニメは世代をつなぐ架け橋にもなっている。我が家と言うなら、子どもと祖父母のコミュニケーションが長寿アニメによって成り立っている。子どもの話す内容によっては、祖父母がよくわからず「うん、うん」と頷くだけのことが多いが、長寿アニメの場合は対等なやり取りができたりする。子どもと高齢者を同じ土俵に立たせてくれる長寿アニメは非常にありがたい存在である。この面からすれば、テレビでのスポーツ観戦、トランプや将棋などのゲームも類似であろう。

私が専門としている社会保障分野(医療、年金、子育て支援など)では、世代間格差が問題視され、世代間対立が発生してしまっている。社会全体を見渡しても、世代を分断する事柄が多いことに比べて世代をつなぐ事柄は少ないように感じる。これからも長寿アニメがさらに長寿となり、幅広い世代をつなぎ続けてくれると心強い。



社会学部
コミュニティデザイン学科 准教授
鎌谷 勇宏
専門分野/社会保障、
医療・福祉政策、社会保障史

時代を照らす仏教のことば

前に生まれん者は
後を導き、
後に生まれん者は
前を訪え

親鸞『教行信証』化身土巻(『真宗聖典』401頁)



WHAT'S

じんげんasile?

『じんげんasile』は、学生・保護者・教職員3者による話題共有を目的とした学内広報誌です。
このタイトルは、本学の象徴である尋源(じんげん)館と、中世に存在した公的な避難所を表すフランス語「asile(アジール)」から命名されました。飛び立つ力をたくわえる「asile」のような大学でありたい、という願いが込められています。
ぜひ、友人や先生、家族と、この冊子を開いてみてください。